



はじめに

- システム要件 (1 ページ)
- Webex Contact Center のシステム制限 (2 ページ)
- 管理ポータルへのサインイン (12 ページ)
- 管理ポータルのコンポーネントについて (12 ページ)
- ダッシュボードについて (14 ページ)
- ユーザーインターフェイスの色の変更 (17 ページ)
- カスタム テーマを作成する (18 ページ)
- API キーの表示と再生成 (18 ページ)
- 監査証跡に関するレポートへのアクセス (18 ページ)

システム要件

このセクションでは、さまざまなコンタクトセンターアプリケーションのシステム要件について詳しく説明します。

管理ポータルでサポートされているブラウザ

次の表に、さまざまなクライアントデバイスが Webex Contact Center 管理ポータルにアクセスするためにサポートされているオペレーティング システムとブラウザを示します。

ブラウザ	Microsoft Windows 10	Microsoft Windows 11	Mac OS X	Chromebook
Google Chrome	76.0.3809	103.0.5060.114	76.0.3809 以降	76.0.3809 以降
Mozilla Firefox	ESR 68 以降	ESR V102.0 またはそれ以降の ESR	ESR 68 以降	適用外
Microsoft Edge	42.17134 以降	103.0.1264.44 以降	該当なし	該当なし
Chromium	該当なし	該当なし	該当なし	79 以降

デスクトップに必要なドメインアクセス

がネットワーク上で Desktop が期待どおりに応答することを確認するには、次のドメインをファイアウォール/VPN（仮想プライベートネットワーク）許可リストに追加します。

- https://*.broadcloudpbx.net:443
- https://cdn.jsdelivr.net
- https://cdnjs.cloudflare.com
- https://*.cisco.com:443
- https://*.ciscoccservice.com:443
- https://*.ciscopark.com:443
- https://*.cloudcherry.com:443
- https://*.imiengage.io:443
- https://*.jquery.com:443
- https://*.mixpanel.com:443
- https://*.pendo.io:443
- https://*.split.io:443
- https://*.wbx2.com:443
- https://*.webex.com:443
- https://ciscoccservice.com:443
- https://cloudcherry.com:443
- https://imiengage.io:443
- https://jquery.com:443
- https://mixpanel.com:443
- https://unpkg.com:443

Webex Contact Center のシステム制限

システム制限に関するこのセクションには、Webex Contact Center 管理ポータルに適用するすべての構成および可視化制限を含みます。

この表には、構成オブジェクトタイプと構成オブジェクト属性の最大システム制限が一覧されています。各エンティティ内の属性の詳細については、「[プロビジョニング](#)」を参照してください。システム制限の一部の値は、特定のプラットフォームによって異なる場合があります。Control Hub 組織の [サービス詳細 (Service Details)] セクションには、Webex Calling Integrated または Real Time Media Service (RTMS) として音声チャネルサービスが表示されます。

表 1: 構成オブジェクトのタイプと属性の最大システム制限

構成オブジェクトタイプ	構成オブジェクト属性	説明	最大許容制限
ユーザ	アクティブユーザ	任意のプロファイルタイプに対して[コンタクトセンターを有効化 (Contact Center Enabled)] オプションを[はい (Yes)] に設定できるユーザの最大数。	2500
ユーザー	構成済みユーザー	Webex Contact Center ライセンスとロール権限を持つユーザーの最大数。	7500 (注) Control Hub からのユーザーの同期に影響を与える可能性があります。この制限に達すると、コンタクトセンターのライセンスやロールが他のユーザーから取り消されるまで、Control Hub からコンタクトセンターに新しいユーザーを追加できません。
ユーザー	Supervisor (スーパーバイザ)	プレミアムライセンスを持つスーパーバイザーまたは管理者としてのプロファイルタイプを持つユーザーの最大数。	750 (注) Control Hub からのユーザーの同期に影響を与える可能性があります。この制限に達すると、コンタクトセンターのライセンスやロールが他のユーザーから取り消されるまで、Control Hub からコンタクトセンターに新しいユーザーを追加できません。

構成オブジェクトタイプ	構成オブジェクト属性	説明	最大許容制限
チーム		状態が[アクティブ (Active)] のチームの最大数。	750
チーム	エージェント	指定チームに対して[コンタクトセンターを有効化 (Contact Center Enabled)] オプションを[はい (Yes)] に設定できるユーザーの最大数。 (注) これらのユーザーは、任意のエージェント、スーパーバイザ、または管理者です。	500
サイト		状態が[アクティブ (Active)] の拠点の最大数。	150
ユーザプロフィール		状態が[アクティブ (Active)] のユーザプロフィールの最大数。	750
ユーザプロフィール	アクセス権 – 拠点	ユーザプロフィール、アクセス権で明示的に指定できる拠点の最大数。	20
ユーザプロフィール	アクセス権 – チーム	ユーザプロフィール、アクセス権で明示的に指定できるチームの最大数。	100
ユーザプロフィール	アクセス権 – エントリポイント	ユーザプロフィール、アクセス権で明示的に指定できるエントリポイントの最大数。	50
ユーザプロフィール	アクセス権 – キュー	ユーザプロフィール、アクセス権で明示的に指定できるキューの最大数。	250
エントリポイント		状態が[アクティブ (Active)] のエントリポイントの最大数。	1000
エントリポイントのマッピング	ダイヤル番号	ダイヤル番号からエントリポイント マッピングの総数。	100000

構成オブジェクトタイプ	構成オブジェクト属性	説明	最大許容制限
エントリポイントのマッピング	ダイヤル番号	エントリポイントにマッピングできるダイヤル番号の最大数。この制限は、テナントが使用する音声チャンネルサービスによって異なります。	<ul style="list-style-type: none"> 統合された Webex Calling : 100 RTMS : 500
アウトダイヤルのエントリポイント		状態が[アクティブ (Active)] のアウトダイヤルエントリポイントの最大数。	500
キュー		状態が[アクティブ (Active)] のキューの最大数。	5000
キュー	通話配布グループ	通話配布ブロックレベルの最大数。	50
キュー	通話配布グループ - チーム	通話配布ブロックのチームの最大数。	50
キュー	サービス レベルしきい値	最大サービスレベルしきい値。	チャンネルタイプ別 <ul style="list-style-type: none"> • テレフォニー : 24 時間 (86400 秒) • チャット : 24 時間 (86400 秒) • E メール : 336 時間 (1209600 秒) • ソーシャルチャンネル: 168 時間 (604800 秒)

構成オブジェクトタイプ	構成オブジェクト属性	説明	最大許容制限
キュー	最長時間	キュー内の最長時間。	チャンネルタイプ別 <ul style="list-style-type: none"> • テレフォニー：24 時間 (86400 秒) • チャット：24 時間 (86400 秒) • E メール：336 時間 (1209600 秒) • ソーシャルチャンネル: 168 時間 (604800 秒) <p>Maximum Time in Queue 値が 172800 秒に設定されている既存のキューを編集すると、エラーが表示されます。テレフォニーがチャンネルタイプの場合、キューを更新するためにエラーメッセージが指定する最大許容制限に値を設定する必要があります。</p>
アウトダイヤルのキュー		アウトダイヤルキューの合計数。	2500
作業タイプ		状態が [アクティブ (Active)] の作業タイプの最大数。	<ul style="list-style-type: none"> • アイドルコードの場合：1000 • ラップアップコードの場合：1000
補助コード		アクティブな補助コードの最大数。	<ul style="list-style-type: none"> • アイドルコードの場合：1000 • ラップアップコードの場合：1000
エージェントプロフィール		エージェントプロフィールの最大数。	300

構成オブジェクトタイプ	構成オブジェクト属性	説明	最大許容制限
エージェント プロファイル	ラップアップ 設定 - タイム アウトによる 自動ラップ アップ	自動ラップアップタイムアウトの最長期間。	600 秒 (10 分)
エージェント プロファイル - ラップアップ 設定	ラップアップ コード - 固有	エージェントプロファイルでサポートされる明示的に指定されたラップアップコードの最大数。	50
エージェント プロファイル - ラップアップ 設定	ラップアップ コード - 固有	エージェントプロファイルで明示的に指定されたアイドルコードの最大数。	50
エージェント プロファイル	コラボレー ション - 転送 対象 - 特定	明示的に指定されたコラボレーションエントリポイント/キュー転送先の最大数。	150
エージェント プロファイル	コラボレー ション - バ ディチーム - 特定	明示的に指定されたコラボレーションバディチームの最大数。	150
エージェント プロファイル	ダイヤル プラ ン	ダイヤルプランの最大数。	10
エージェント プロファイル	エージェント DN 検証 - 検 証基準 - 特定	検証のために選択できるダイヤルプランの最大数。	10
エージェント プロファイル	エージェント が表示可能な 統計 - キュー 統計 - 特定	キュー統計に指定できる特定のキューの最大数。	100
エージェント プロファイル	エージェント が表示可能な 統計 - チーム 統計 - 特定	チームに対して明示的に指定されたエージェント パフォーマンス統計 (APS) の最大数。	100
アドレス帳		アドレス帳の最大数。	3,000
アドレス帳		アドレス帳のエントリ数。	6,000

構成オブジェクトタイプ	構成オブジェクト属性	説明	最大許容制限
アウトダイヤル ANI		アウトダイヤル Automatic Number Identifications (ANI) の最大数。	300
アウトダイヤル ANI		アウトダイヤル ANI エントリの最大数。	500
マルチメディア プロファイル		作成可能なマルチメディア プロファイルの最大数。	100
ディスプレイレイアウト		作成可能なカスタム デスクトップ レイアウトの最大数。	100
スキルの定義		スキル定義の最大数。	1000
スキルの定義		テキスト として選択したスキルタイプのスキルの最大数。	200
スキルの定義		テキストスキルの文字の長さ。	50
スキルの定義		列挙子スキルの最大列挙リスト値。	200
スキルの定義		列挙スキルの各列挙値の最大長。	50
スキルプロファイル		スキルプロファイルの最大数。	9,000
スキルプロファイル		プロファイルごとのアクティブスキルの最大数。	150
しきい値ルール		しきい値ルールの最大数。	500
グローバル変数		グローバル変数の最大数。	5000
コール録音	通話録音スケジュール	通話録音スケジュールの最大数。	1000
コール モニタリング	通話監視スケジュール	通話監視スケジュールの最大数。	1000

構成オブジェクトタイプ	構成オブジェクト属性	説明	最大許容制限
ルーティング方法	Global Routing Overrides	global routing strategies の最大数。	100
ルーティング方法	Global Routing Overrides	global routing override のエントリポイントの最大数。	500
ルーティング方法	デフォルト以外のルーティング方法	エントリポイントのルーティング方法の最大数。	20
音声ファイル		単一音声ファイルの最大サイズ。	5 MB
音声ファイル		すべての音声ファイル（総数）の最大サイズ。	1000 MB
音声ファイル		音声ファイルの最大数。	4000

次の表は、録音管理、通話録音、通話監視のスケジュール機能に対して、管理ポータル UI でフィルタを視覚化するためのシステム制限を示しています。

表 2: フィルタの最大システム制限

用途・特徴	フィルタ付きのオブジェクトタイプ	説明	最大許容制限
録音管理	キュー	キューのフィルタの最大数。	250
	拠点	拠点のフィルタの最大数。	20
	チーム	チームのフィルタの最大数。	100
	エージェント	エージェントのフィルタの最大数。	500
	ラップアップコード	ラップアップコードのフィルタの最大数。	50
	タグ	タグのフィルタの最大数。	50
通話録音スケジュール	拠点	拠点のフィルタの最大数。	20

用途・特徴	フィルタ付きのオブジェクトタイプ	説明	最大許容制限
	チーム	チームのフィルタの最大数。	100
	エージェント	エージェントのフィルタの最大数。	500
通話監視ダッシュボード	キュー	キューのフィルタの最大数。	250
	拠点	拠点のフィルタの最大数。	20
	チーム	チームのフィルタの最大数。	100
	エージェント	エージェントのフィルタの最大数。	500
通話監視スケジュール	キュー	キューのフィルタの最大数。	250
	拠点	拠点のフィルタの最大数。	20
	チーム	チームのフィルタの最大数。	100
	エージェント	エージェントのフィルタの最大数。	500

リストされているエンティティには、[名前 (Name)] フィールドに使用できる文字数に上限があります。

- エントリポイント
- キュー
- アウトダイヤルのエントリポイント
- アウトダイヤルのキュー
- サイト
- チーム
- ユーザー
- ユーザプロファイル
- 作業タイプ
- 補助コード
- エージェントプロファイル
- アドレス帳
- アウトダイヤル ANI
- スキル定義
- スキルプロファイル
- エントリポイントのマッピング
- 音声ファイル



(注) 名前の最大長は 80 文字です。英数字、下線、およびハイフンを含めることができます。

以下の表では、ルーティングとキューでサポートされている構成制限が一覧されています。

表 3: アクティブかつ最大の構成制限

構成	アクティブな制限	上限
チームの最大エージェント数	50	100
Call 配布グループ (CDG) のチーム最大数	50	50
キュー内の最大 CDG	50	50
キュー内のエージェント最大数 (チーム内の最大エージェント数 × CDG のチーム最大数 × キュー内の最大 CDG)	500	該当なし
キューの最大時間 (音声)	1 日	1 日
スキルプロファイルの最大スキル	50	50
キャパシティベースチーム (CBT) の最大数	100	100
組織の最大 CBT	20	40
CBT の最大同時呼び出し数 (CBT の最大数 × 組織の CBT チームの最大数)	2000	NA
問い合わせの最大スキル要件	10	10
組織の最大キュー数	1000	2,000
通話監視の最大同時通話数	500	該当なし
組織のすべてのアウトバウンド (Preview および Progressive) キャンペーン	100	該当なし

管理ポータルへのサインイン

自分のログイン情報を使用して Web ブラウザから Webex Contact Center 管理ポータルにサインインします。管理者によってアクセスが許可されたモジュールと機能にアクセスできます。

管理ポータルにサインインするには

手順

- ステップ 1 <https://admin.webex.com> にサインインします。
- ステップ 2 左側のペインから [サービス (Services)] をクリックします。
- ステップ 3 [Contact Center] カードで、[設定 (Settings)] をクリックします。
- ステップ 4 [詳細設定 (Advance Configuration)] セクションで、[管理ポータル (Management Portal)] リンクをクリックします。このリンクをブックマークしておく、このリンクを使用してポータルに直接アクセスすることができます。

管理ポータルのランディング ページが表示されます。詳細については、[管理ポータルのコンポーネントについて \(12 ページ\)](#) を参照してください。

- (注) サインアウトしたら、すべての Webex Contact Center ウィンドウを閉じてから、再度サインインします。

管理ポータルのコンポーネントについて

Webex Contact Center 管理ポータルのランディング ページには、許可に基づいてアクセスできる複数のコンポーネントがあります。

次の表で、管理ポータルのランディング ページのコンポーネントについて説明します。

コンポーネント	説明
ナビゲーションバー	<p>アクセスが許可されているモジュールが表示されます。詳細については、Webex Contact Center モジュールを参照してください。</p> <p>モジュールの名前、またはナビゲーションバーが折りたたまれている場合はモジュールを表すアイコンが表示されます。アイコンにマウスカーソルを合わせると、モジュール名が表示されます。</p> <p>ナビゲーションバーを展開するか折り畳むには、ランディング ページの左上にあるボタンをクリックします。</p>

コンポーネント	説明
ダッシュボード	<p>表示時点での、IVR、キュー内、接続済みのいずれかであるコールの数と、対応可能なエージェントの数が表示されます。</p> <p>このパネルの残りの部分には4つのチャートが表示されます。そのうちの3つは、現在のコールアクティビティ、間隔のコールアクティビティ、拠点レベルのエージェントアクティビティに関するリアルタイム統計を提供します。4番目のチャートは、履歴統計を示します。</p> <p>チャートの上部にあるアイコンをクリックすると、対応するレポートが [レポート (Reporting)] および [分析 (Analytics)] モジュールウィンドウに表示されます。</p> <p>チャートのサイズを変更するには、コーナーまたはエッジをポイントし、マウスポインターが双方向の矢印に変わったら、角または辺をドラッグしてチャートを縮小または拡大します。</p> <p>サイズ変更されたチャートのサイズを元に戻すには、[ウィジェットのリセット (Reset Widgets)] をクリックします。</p>
設定ボタン	<p>次の操作を実行できるパネルが、展開されるか、折りたたまれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 別のユーザインターフェイススキンを選択します。詳細については、ユーザインターフェイスの色の変更 (17 ページ) を参照してください。 管理ポータル ページで使用されるユーザ インターフェイスのバナーの色と画像をカスタマイズします。詳細については、カスタム テーマを作成する (18 ページ) を参照してください。 ルーティング方法の時間値を表示するタイム ゾーンを変更します。詳細については、タイムゾーンごとにルーティング方法を表示する を参照してください。 ユーザ アカウントに割り当てられた API キーを表示および更新します。詳細については、API キーの表示と再生成 (18 ページ) を参照してください。
名前ボタン	<p>ドロップダウンリストには次のオプションが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ヘルプ (Help)] : 管理ポータルのオンライン ヘルプ ドキュメントが別のウィンドウで開きます。 サインアウト : 開いているすべてのモジュールを閉じて、管理ポータルからサインアウトします。

ダッシュボードについて

Webex Contact Center 管理ポータルランディングページには、以下のダッシュボードがあります。

- エントリポイント - 拠点レベルのダッシュボード (Entry Point - Site level Dashboard) (デフォルト)
- コンタクトセンターの概要 - リアルタイム (Contact Center Overview - Realtime)
- コンタクトセンターの概要 - 履歴 (Contact Center Overview - Historical)
- エージェントの状態データ - リアルタイム (Agent State Data - Realtime)

各ダッシュボードで使用できる視覚化については、『Cisco Webex Contact Center Analyzer ユーザーガイド』の「[可視化](#)」セクションを参照してください。

[ダッシュボード (Dashboard)] タブの左上にあるドロップダウンリストから、これらのダッシュボードにアクセスできます。



- (注)
- 上記のダッシュボードのアクセスは、管理ポータルの [ユーザープロファイル (User Profile)] 設定で構成したアクセス権限に基づきます。詳細については、「[ユーザープロファイル](#)」を参照してください。
 - ダッシュボードの概要ビューは、管理ポータルにアクセスするすべてのユーザーが利用できます。

エントリポイント - 拠点レベルのダッシュボード

IVR およびキュー内のコンタクト数に関する情報を表示します。

- スナップショット エントリポイント IVR リアルタイム - チャート (Snapshot Entry Point IVR Realtime - Chart) : IVR 内のコール数を示します。
- エントリポイント間隔リアルタイム - チャート (Entry Point Interval Realtime - Chart) : 特定の間隔におけるエントリポイントあたりのコンタクト (音声、電子メール、チャット) の数をリアルタイムで示します。デフォルトでは、間隔は 30 分で、継続時間は 1 日の始めからの値です。
- 拠点間隔リアルタイム - チャート (Site Interval Realtime - Chart) : 1 日の始めからの、拠点あたりの接続済みコンタクト (音声、電子メール、チャット) の数をリアルタイムで示します。
- エントリポイントコンタクト量 - チャート (Entry Point Contact Volume - Chart) : 最近 7 日間について、1 日を間隔としたエントリポイントあたりの接続済みのコンタクト (音声、電子メール、チャット) の合計数を示します。

コンタクトセンターの概要 - 履歴 (Contact Center Overview - Historical)

指定された時間と間隔について、処理されたコンタクト、破棄されたコンタクト、キュー内のコンタクトに関する情報を表示します。ダッシュボードの [間隔 (Interval)] および [時間 (Duration)] ドロップダウンリストを使用して、選択した間隔と時間に基づいてデータをフィルタ処理できます。データを最新の情報に更新するには、[更新 (Refresh)] アイコンを使用します。

表示される情報は次のとおりです。

- 平均サービス レベル (Average Service Level) : キューに設定されているサービスレベルの範囲内で処理された問い合わせの割合を示します。
- 処理されたコンタクトの総数 (Total Contacts Handled) : 処理されたコンタクト (音声、電子メール、ソーシャル、チャット) の合計数を示します。
- 破棄されたコンタクトの総数 (Total Contacts Abandoned) : 破棄されたコンタクト (音声、電子メール、ソーシャル、チャット) 合計数を示します。
- 平均処理時間 (Average Handled Time) : 問い合わせ (音声、Eメール、ソーシャル、チャット) の処理にかかった平均時間を示します。
- キューでの最長待機コンタクト (Longest Contact in Queue) : キューでの待機時間が最も長かったコンタクト (音声、電子メール、ソーシャル、チャット) のキューでの待機時間を示します。
- キュー内のコンタクト詳細 (Contact Details in Queue) : 現在キューで待機しているコンタクト (音声、電子メール、ソーシャル、チャット) の詳細を表示します。

さらに、[チーム詳細 - 履歴 (Team Details - Historical)] ダッシュボードには、指定した期間と時間間隔で次の情報が表示されます。

- チーム
- チームに属するエージェント
- エージェントログイン
- エージェントによって処理されたコンタクト

ダッシュボードで使用可能な次のフィルタを使用して、データをフィルタ処理できます。

- エージェント名
- チーム名
- 間隔
- 期間

エージェントの状態データ - リアルタイム (Agent State Data - Realtime)

管理者またはスーパーバイザは、[エージェントの状態データ - リアルタイム (Agent State Data - Realtime)] ダッシュボードを使用して、エージェントの状態データをモニタできます。このダッシュボードには次の情報が表示されます。

- エージェントの名前。
- エージェントが割り当てられている拠点とチーム。
- エージェントのログイン時間。
- エージェントの最新の既知の状態。
- エージェントが最新の状態であった期間。
- エージェントが [アイドル (Idle)] 状態の場合のアイドルコード。

ダッシュボードの上部にあるフィルタを使用して、選択した拠点、チーム、エージェントについてエージェントの状態データを表示できます。フィルタで使用可能な拠点、チーム、エージェントのリストは、管理者またはスーパーバイザがアクセス権を持つチームまたは拠点によって異なります。詳細に関しては、「[アクセス権](#)」を参照してください。

[エージェントの状態データ - リアルタイム (Agent State Data - Realtime)] ダッシュボードには、エージェントの状態に基づいてeコマースをサインアウトできる機能があります。次の表に最新のエージェントの状態と説明を示します。

直近の状態	示す内容
Connected	エージェントは少なくとも1つのチャンネルに接続されています。この状態には、[呼び出し中 (Ringing)] と [ラップアップ (Wrap-Up)] も含まれます。直近で接続されたチャンネルは、[状態時間 (State Duration)] フィールドのアイコンで示されます。
Available	エージェントはデスクトップ上では対応可能ですが、アクティブなコンタクトをまだ引き受けていません。
Idle	エージェントがアイドル状態を設定しました。詳細に関しては、[アイドルコード (Idle Code)] フィールドを確認してください。



- (注) 通常のサインアウトが不可能な場合は、エージェントを強制的にサインアウトするオプションを使用できます。エージェントの現在の問い合わせ対応がクリアされるため、管理者またはスーパーバイザは、エージェントを強制的にサインアウトする際に注意する必要があります。



- (注) チャットおよびEメールチャネルの場合、スーパーバイザが管理ポータルからエージェントを強制的にサインアウトしようとする、エージェントはサインアウトされませんが、チャットセッションは開いたままになります。これらのチャネルでは、問い合わせのクリーンアップ機能は使用できません。

エージェントをサインアウトするには、[アクション (Action)] フィールドの [サインアウト (Sign Out)] をクリックします。エージェントが正常にサインアウトしたことが通知されず。



- (注) [エージェントの状態データ - リアルタイム (Agent State Data - Realtime)] ダッシュボードにアクセスできるのは、[エージェントのログアウト (Logout Agents)] モジュールに対する表示または編集権限がある場合のみです。エージェントをサインアウトするには、モジュールに対する編集権限が必要です。詳細については、[モジュールの設定](#)を参照してください。



- (注)
- 企業がソーシャルチャネルアドオンを購入済みである場合にのみ、レポートにソーシャルチャネルタイプが表示されます。
 - [デプロイ名 (Deployment Name)] フィルタは、Cloud Connect ユーザにのみ表示されます。

レポートの詳細については、『[Webex Contact Center Analyzer ユーザーガイド](#)』の「各リポジトリで使用可能なレコードのタイプ」セクションを参照してください。

ユーザーインターフェイスの色の変更

選択肢パネル、バナーそしてページ上で、色やスキンを設定できます。

手順

- ステップ 1** 管理ポータルの右上隅にある歯車アイコンをクリックします。
- ステップ 2** スパナアイコンが表示されているタブをクリックして、スキンを選択します。色はすぐに変更されます。
- ステップ 3** (オプション) デフォルトの色に戻すには、[リセット (Reset)] アイコンをクリックします。

カスタム テーマを作成する

カスタムテーマを作成することで、管理ポータルユーザインターフェイスのバナーの色や画像をカスタマイズできます。ユーザインターフェイスをカスタマイズするには、適切な許可が必要です。

カスタムテーマを作成するには、以下の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** 管理ポータルの右上隅にある歯車アイコンをクリックします。
 - ステップ 2** [カスタムテーマ (Custom Theme)] アイコンが表示されているタブをクリックします。
 - ステップ 3** [バナー色 (Banner Color)] で、色の HTML (16 進数) コードを入力するか、横にある小さなボックスをクリックして色を選択します。
 - ステップ 4** (オプション) 一覧表示されている各画像タイプのフォルダボタンをクリックし、使用するシステムの画像ファイルに移動して、[開く (Open)] をクリックします。サポートされているファイルタイプは、PNG、JPG、JPEG、GIF です。
 - ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
ユーザインターフェイスが新しいテーマで更新されます。
 - ステップ 6** (オプション) 変更を元に戻すには、[リセット (Reset)] をクリックします。
-

API キーの表示と再生成

API キーを表示または再生成するには、以下の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** 管理ポータルの右上隅にある歯車アイコンをクリックします。
 - ステップ 2** [API キー (API Key)] アイコンが表示されているタブをクリックします。
 - ステップ 3** (オプション) リンクをクリックして、API キーを表示します。
 - ステップ 4** [キーの再生成 (Regenerate Key)] をクリックして、API キーを再生成します。
-

監査証跡に関するレポートへのアクセス

[監査証跡 (Audit Trail)] ページには、過去 3 年間のアカウントに加えたプロビジョニングモジュールの変更の詳細が確認できるインターフェイスが表示されます。ただし、フェッチでき

るデータは、7日間のみです。Microsoft Excel または Adobe PDF で詳細をダウンロードできます。レポートを表示する権限があることを確認してください。

監査証跡レポートを表示するには、以下の手順を実行します。

手順

ステップ 1 管理ポータルナビゲーションバーから、**[監査証跡 (Audit Trail)]**。

ステップ 2 フィルタを選択します。

コールステータス	説明
エンティティ	ドロップダウンリストからエンティティを選択します。エンティティとは、プロビジョニング データベース テーブル内の項目です。
操作	選択したエンティティで実行された作成、削除、更新などのアクションを選択します。
期間	カレンダーコントロールから7日の日付範囲を選択します。

ステップ 3 **[フィルタの適用 (Apply Filters)]** をクリックします。

ステップ 4 (オプション) **[PDF をダウンロード (Download PDF)]** または **[EXCEL をダウンロード (Download EXCEL)]** をクリックするとレポートをダウンロードできます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。